



家族との語り合いの大切さ 親子読書

未だにコロナ禍の出口が見えない5月。4月末に開催予定だった中体連の春の大会はすべて中止に、家庭訪問も授業参観も延期、そして、修学旅行も秋に延期となりました。本来であれば6月号で、そんな舞台で生徒が活躍する様子をお届けするはずでしたが、残念ながらできません。今は、「マスクをとったら喋らない!」を徹底し、引き続きコロナ予防対策を講じているところです。こんな時勢だからこそ、不満を口にするのではなく、置かれた状況を受け入れ、今、自分ができることを全力でやることに集中しましょう。



さて、毎年GWの課題として、「親子読書」を実施しています。共通の読み物を通して、親子で感じたことや考えたことを語り合うという企画です。実は、歴史は古く、昭和55年から東海南で始まりました。保護者の皆さんが生徒のときも、今と同じように親子読書があったということにロマンを感じます。

今年は、薬師寺の再生に生涯を捧げた高田好胤さんが書いた「見えざるものへの努力」と「マザー・テレサから学んだこと」、そして、スガシカオさんの歌「Progress」から選んで読みました。今回は保護者の方の感想を紹介します。「忙しい日々の中で忘れていた親子で考える時間をありがとうございます。-中略- 目に見えぬ積み重ねが、大きい嵐が来ても動かされない大きな力になります。ここ一番の時に耐えられる力を親子でつけていきたいと思いました」「勉強やスポーツ、生活の中で面倒くさいことをコツコツと励むことが、今は形として見えないけど、先で何かに結びつくことを信じて行動することが大事なんだということ、子どもと話し合いました」「久しぶりにマザー・テレサの名前を聞きました。-中略- 大人になった自分は果たしてどれだけ他人の為に行動できているのかと、自身を見つめ直す良い機会でもありました」「子どもと一緒に改めて曲（Progress）を聴きました。-中略- この歌詞のように、自分らしく一歩ずつ前に進んでくれるように応援しています」～素晴らしい感想をありがとうございました。

子どもにとって一番大切な教育は家族との会話だと言われています。幼い頃は親子の会話から言葉を学び獲得しています。中学生ともなると親子の会話が少なくなりがちですが、このような機会を持つことで、親がこれまでの経験を語ったり、生き方にまで話が発展したり、改めて考えや価値観の違いを知ったり、共感しあったりと、お互いを理解しあうことにつながります。そんな共通の話題を提供することも、学校の役割だと思っています。日々の学校での出来事や世の中で起こっているニュースなどについて食卓を囲みながら語り合う。そんな時間を大切にしていきたいですね。



練習は嘘をつかない！ 集団行動

「全体、進め！」
元気な号令とともに「ダッダッダッ」と揃った足音が、体



育館から聞こえてきます。体育科恒例の集団行動の授業が4月から続いています。「昭和っぽいなあ」と思うかもしれませんが、全員が息を揃えて歩き、ピタッと止まるだけでも至難の業。全員でレベルを上げようと自分らで工夫し指摘し合いながら、ひたすら歩きます。その練習の成果は確実に現われ、日に日にレベルアップしていくことに楽しさとやりがいを感じるようで、み

んな笑顔で取り組みます。1年よりも2年、2年よりも3年と学年が上がる毎にレベルも上がっています。最後には、各グループで練習の成果を披露し、ビデオに収めました。特に3年生の発表会では、これまでの練習の成果を発揮しようと緊張感が漂うほど。演技が終わり退場すると、皆で拍手したりハイタッチをしたりと達成感を味わっていました。

「練習は嘘をつかない」という言葉があります。どんなことでも本気で練習すれば成果は必ず現われます。また、集団行動はみんなで頑張る一体感を味わい、自分らで工夫して取り組む自治が育まれます。要は全員が本気になれるか。そのためには、号令をかけみんなを鼓舞するリーダーの存在や厳しく課題を指摘し合うチームワークも必要でしょう。集団行動にはこれからの学校生活に生きる大切なことがたくさんつまっています。



電子黒板が活躍しています

12月に各教室へ導入された電子黒板が、いろいろな授業で活用されています。例え

ば、音楽では聴きたい曲をすぐに YouTube の動画で視聴できたり、体育では集団行動のビデオをその場で観て課題を話し合ったりと、各教科で有効に活用しています。3年生の総合的な学習の時間では、キャリア教育の一環として毎日放送「がちりマンデー」（TVer 利用）を視聴しています。SDGs（持続可能な開発目標）や、コロナによる生活の変化、AI の開発、海外への進出など、



現代社会の流れや顧客のニーズを企業は分析し、先手を打ってサービスや商品を開発して、売り上げを伸ばし、利益を「がちり」得ている企業に生徒は興味津々。近未来の経済活動はどうなっていくのか、また、視野を広げ多角的に社会や生活を見つめ直すことがビジネスにつながっているなど、将来に活かせる様々な視点を学びました。

また、3年生の道徳では、毎日放送「報道特集」で放送された「ヘイトクライム」についての特集を視聴し、今アメリカを中心に頻発しているアジア系人種差別について学びました。（左写真）

このように、リアルタイムで現代社会を映し出しているテレビ番組を、簡単に教材として授業で扱えることは視野を広げる意味で大きなメリットです。動画を見て話し合い、他の意見を聞くことで学びは深まります。来月の育友会常任委員会は、全体会を各教室オンラインで実施する予定です。